

# 次郎長に時流読む日

## 高橋名誉教授 生誕200年記念し講演

徳川みらい会  
徳学

長が生きた時代を観客に伝えた。  
(社会部・国本啓志郎)

徳川時代の歴史的意

を説いた。

て本題を単刀直入に伝

義を研究・発信する

幼少期に寺子屋を2

えている「堂々とした

「徳川みらい学会」と

度破門される問題見だ

人間性だったと紹介し

静岡商工会議所は9

つた次郎長が、1888

た。

日、清水次郎長生誕2

4年の博徒大刈込の危

県舞台芸術センター

00年を記念した講演

機などを切り抜けて大

(SPAC)の俳優奥

会を静岡市葵区の市民

狭となった背景に「時

野晃土さんらも出演

文化会館で開いた。下

代の潮目と付くべき人

し、動きを交えながら

田市出身の高橋敏国立

を見極める目を持つて

の朗読「動読」で次郎

歴史民俗博物館名誉教

いた」と解説。次郎長

授が「侠客清水次郎長

が師事した山岡鉄舟に

と静岡の明治維新」と

送った書簡を示し、「時

題して次郎長の人間性

候のあいさつを飛ばし



次郎長の人間性を解説する高橋名誉教授  
＝静岡市葵区の市民文化会館